

## いかなる理由があろうとも戦争・武力は許さない！

### ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を糾弾！

2月24日、ロシア軍が2月24日、国際社会の警告を無視してウクライナへの軍事侵攻を開始し、この1週間で首都キエフ、第2の都市ハリコフ市街で大規模な攻撃を行っています。ロシア兵約500名、ウクライナ兵約2800名（いずれもロシア国防省発表）の死者が出ています。更には戦闘は市民も巻き込み多くの市民が亡くなっている模様です。ウクライナの頑強な抵抗を受けるロシア側の爆撃は、無差別攻撃の様相を呈しています。米欧の経済制裁によりロシアの国際的孤立は深刻化しており、ロシアのプーチン大統領は、核戦力をちらつかせて米欧を威嚇しています。

### 歴史を繰り返すな！

これまで、湾岸戦争をはじめイラク戦争、アフガニスタン紛争など大国の利害が見え隠れし、結果国土が戦禍に巻き込まれてきた映像を見てきています。空爆の下で犠牲になる多くは老人、子供などいわゆる弱い立場の人たちです。人類は歴史から何を学んできたのでしょうか。私たちはいかなる理由があろうと武力による解決は許せません。ロシアは自国の利益のために、武力を持って周辺国を軍事侵攻することを中止し、部隊を直ちに撤収させるべきです。

### この時とばかり危機感を煽る人たちを許してはいけない

一方、日本国内においても危機感を煽り戦争のできる国づくりを進めようとする人たちがいます。自民党の安倍晋三元首相や日本維新の会の松井一郎代表らが核共有（ニュークリア・シェアリング）に関する議論の必要性に言及していますが、許されることではありません。

名古屋地本はロシアのウクライナ軍事侵攻を厳しく非難するとともに、即時軍事侵攻の中止・撤退を強く求め、全ての戦争政策に反対する連帯を拓げるために闘っていきます。

## 全ての戦争政策に反対！